

平成 31 年度 九州工業大学 A0 入試の第 1 段階選抜及び第 2 段階選抜方法等について

【第 1 段階選抜方法等】

第 1 段階選抜（1,200 点満点）

- ・大学入試センター試験の利用教科・科目・配点（900 点）（5 教科 7 科目）

学部	類	教科	科目	配点
工学部	全類	国語	国語	150
		地歴 公民	世界史B, 日本史B, 地理B } から 1 科目 「倫理, 政治・経済」	50
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	250
		理科	物理と化学	250
		外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目	200

学部	類	教科	科目	配点		
				情工 1類	情工 2類	情工 3類
情報工学部	全類	国語	国語	150		
		地歴 公民	世界史B, 日本史B, 地理B } から 1 科目 「倫理, 政治・経済」	50		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」	280	250	220
		理科	物理, 化学, 生物, 地学から 2 科目	220	250	280
		外国語	英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語から 1 科目	200		

※ 外国語の「英語」には「リスニング」を含み、配点内訳は、筆記試験 160 点、リスニング 40 点とします。また、大学入試センターの受験上の配慮によりリスニングを免除された者については、筆記試験（200 点満点）の得点のみを利用します。

なお、工学部においては、大学入試センターの受験上の配慮以外の理由によりリスニングを受験しなかった者は、出願できません。

※ 情報工学部においては、類毎に、大学入試センター試験の数学及び理科の配点が異なります。

- ・英語の外部検定試験の利用について

大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合、英語の外部検定試験で一定のスコア（級）を取得し、スコアシート等を出願時に提出したものは、得点の加点又は置き換えを受けることができます。そのため、英語の外部検定試験については、第 1 段階選抜における高校入学後の活動に関する記述の評価対象とはなりません。

- ・調査書及び高校入学後の活動に関する記述の配点（300 点）

類	評価項目	配点
全類	調査書	200
	高校入学後の活動に関する記述	100

※ 「高校入学後の活動に関する記述」については、高校入学以降の各種活動（部活動、高校行事、学業での活動や資格等の取得を含む。）を総合的に評価するものです。

高校入学以降の活動のうち最大 3 つの活動を選択し、それぞれについて下記の内容をまとめて 200 字以内で記述してもらう予定です。

- ・具体的な活動内容
- ・その活動によって身に付けたこと
- ・そのことを九州工業大学入学後にどのように活そうと考えているか

「高校入学後の活動に関する記述」に関する具体的な記述例については、本学ホームページ及び平成 30 年 10 月下旬に公表予定の A0 入試学生募集要項を参照してください。

- ・第 1 段階選抜の不合格者は、第 2 段階選抜の試験を受験することができません。

【第2段階選抜方法等】

第2段階選抜（1,500点満点）

第1段階選抜の合格者に対してのみ、第2段階選抜を行います。

ただし、志願者数によっては、第1段階選抜は実施せず、第2段階選抜のみを実施します。

第2段階選抜においては、大学入試センター試験の成績のほか、課題解決型記述問題、グループワーク及び個人面接を実施し、第1段階選抜の点数は利用せず、第2段階選抜のみの点数により判定します。第2段階選抜における、課題解決型記述問題、グループワーク及び個人面接をすべて受験しなければ、第2段階選抜の合否判定の対象とはなりません。

- ・大学入試センター試験の利用教科・科目・配点（900点）

第2段階選抜における大学入試センター試験の利用教科・科目・配点等については、第1段階選抜と同じです。

- ・英語の外部検定試験の利用について

大学入試センター試験の「外国語」を「英語」で受験している場合、英語の外部検定試験で一定のスコア（級）を取得し、スコアシート等を出願時に提出したものは、得点の加点又は置き換えを受けることができます。

- ・課題解決型記述問題、グループワーク及び個人面接の配点（600点）

類	評価項目	配点
全類	課題解決型記述問題	150
	グループワーク	250
	個人面接	200

- ※ 「課題解決型記述問題」では、解答内容の論理性、表現力等を評価します。

小中学校で学んだ理数科目から表や図を示し、その提示内容を読みとり、結果・考察をまとめ、それを基に、研究課題や新たな授業展開の計画を立案する問題となる予定です。（実施時間：60分）

- ※ 「グループワーク」では、コミュニケーション力、論理性、協働的な活動への参加の状況等を評価します。

3～6名の受験生と本学教員1名でグループを組み、与えられたテーマを基にグループで以下の活動を行い、その後の5分程度の振り返り時間で、当該活動の評価、参加者間の相互評価などを行う予定です。（実施時間：30分）

- ・グループ構成員からアイデアを数多く出すための活動
- ・それらのアイデアを「2つの軸・4つの領域」で分類する活動
- ・本学教員に対して、それらの活動をまとめた発表

- ※ 「個人面接」では、課題解決型記述問題の解答、高校入学後の活動に関する記述、調査書等を題材に、双方向での面接による質疑応答を通して、以下の点を評価する予定です。（実施時間：10分）

- ・思考力、判断力
- ・適切に相手に伝えるコミュニケーション能力
- ・主体的で協働的な学びの態度